

き ず な 

北九州市立折尾西小学校

学校だより 2月号

平成31年2月1日(金)

校長 成重純一

## インフルエンザ予防を

インフルエンザが全国的に流行する時期になっています。本校でも、先週三連休明けの15日(火)のインフルエンザによる欠席者数は、全学年を通して60名を超えました。その後、徐々に減っていきながらも、欠席者数が増えている学級もあり、まだ安心できません。

栄養・休養・睡眠をしっかりとることや手洗いをする、また、マスクをすることなどは、継続して行うことで効果が上がります。どうぞ予防に取り組まれてください。



## 北門の大きな門扉を閉めています

国道3号線とは反対側にある、いわゆる北門の大きな門扉を登校時間から開けておくことがずっと続いていました。しかし、「本来、車を通してはいけない門なのに開けておくと、車の進入を誘発して交通事故を招くのではないか。」というスクールヘルパーの方のご助言により、歩行者が通行するための狭い門扉だけを開けることとしました。北門が、かつて本校の正門だった歴史もあり、慣習的に大きな門扉を開けてきたのだと思われます。大きな門扉を開けるのは、運動場を駐車場として使用する大きな行事のときだけです。子どもたちの安全のため、北門は、歩行者用の門扉だけを登下校の時間帯に開けます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



↑ 登下校時間帯に○の部分だけを開けます。

## 地震を想定した避難訓練

阪神淡路大震災があった1月17日を予定していた避難訓練でしたが、インフルエンザの罹患者が多かったため、1月29日に延期し、実施しました。

子どもたちからは、私語が聞こえず、迅速な避難ができました。これまでの火災を想定した避難訓練や不審者侵入を想定した避難訓練の経験から、非常時における集団行動の在り方を子どもたちは学んできているようです。

ただ、地震が実際に起きた場合には、校舎の一部倒壊による避難経路の変更や火災発生も考えておく必要があります。どんな事態に遭遇しても、落ち着いて教師の指示を聞く態度が重要であると再確認した訓練でした。